

第1回ふくつSDGs賞申請書一覧（講評掲載）
【一般部門】

No.	個人/団体名	応募種別	活動開始年	活動頻度	活動概要	高く評価できる点	現在の取組にプラスして欲しい点
1	津波街道維持保存会	個人	平成24年	2~3回程度	3で前町町歩きMAPと周遊コース整備、11で「ほつとるまち歩き」づくり、15で自然環境保護整備、水防設備、それは栽培。16で「津波物語」刊行と花見区高村町新築の歴史文化、東岸町一帯の緑化整備、17で高津津遊歩道（仮称）「街歩きミット」そば栽培等での多数の団体、個人との連携。	継続的かつ、自立的運営でまちづくりの実践が行われており、福津の文化を育むとても貴重な活動であると感じました。 活動を支える運営側の人員や、支援の展開・寄付が多様である。 福津をまちづくりに資するだけでなく、多方面から地域の活性化の取組がみられます。ホールシアテアロープへの協力も高く評価できます。 福津市を舞台に、文化の継承から、物産販売まで「街歩きミット」など、ローカルなまちおこしを体現できていることが高く評価できます。	新しい仕組みの導入、活動の対象範囲を広げること、未来のビジョンを踏まえて夢を描けることにより良いです。 コミュニケーションのデザイン、名刺、育成、オラレシヨ、通信方法、などデザインが充実するとともに多くの支持を得られそうです。 ぜひ、他地域へ働きかけ、このモデルを広く活用していただきたいです。 福津市の観光や山歩きで拡大する取組として、行政だけでなく様々な主体と連携し、経費を知ってもらう活動を拡大して、成果を出していかれることを期待します。 例えば、保存会と市民で清掃活動を行うなど環境をもう少し取り入れるとさらに良い。
2	花田 昌士	個人	平成30年	年7回程度	現在の世界の環境問題のすべてを解決できるといわれているモリガを栽培しています。	個人の活動をSDGsにつなげて取り組んでいらっしゃる意識がとても良いと思いました。 モリガという植物に着目した点は素晴らしいし、ハウスで栽培している点も素晴らしい。 モリガに着目したオリジナルティが評価できます。	スケールアップの具体的な計画があるとより良い取組に展開するかもしれません。 「巻き込む力」。1人で広め、共感を得ていくことに限界があるので、どれだけ多様な他者を巻き込むかが力です。
3	福津市まちづくり研究会	団体	平成30年	毎月2回程度	住み、住み、住み続けられるまちをめざして古くから在り、他のまちから移り住んだ人、市外からの訪問者に「住み良しまち」について、意見を徴収及びその情報公開活動。 住みよまづくりを基本コンセプトに、現在の住人、移住者、訪問者から幅広い意見を聴取し、ホームページなど広く情報発信している点は、高く評価できます。	研究とその成果を軸に、堅実な活動をされている点がとても良い取組だと感じました。地元ならではの研究成果を元にした企業関係者や子どもたちへの教育など、市民への教育効果も期待できます。 自然からのリスクに向けた全住民を対象にした防災視察の取組が素晴らしい。 新住民の共生など新形で意欲的な取組がみられ、福津市をよりよきようという積極的な姿勢がみられます。 住みよまづくりを基本コンセプトに、現在の住人、移住者、訪問者から幅広い意見を聴取し、ホームページなど広く情報発信している点は、高く評価できます。	福津市はもちろみ、本取組を対外的（福津市外）にも積極的に広報するとさらに良い。 子育て中の父親以外の関係者を巻き込む仕組みがあると良いと思います。また、2030年の夢をもう少し具体的に描くことで、今宵をすべきの一歩がでてくるかもしれません。 家族という立場だけでなく、地域や街という視点で「共創」を営みし様々な人と一緒に活動できるようにすると良い。 普及啓発に努めていただくとともに、さらなる多方面との連携を期待します。
4	ババラス（ミズメ）（発達障がいを持つ子どもの父親）	個人	平成30年	年4回程度	発達障がいを持つ子どもの父親が主体となり、身近な事例に基づいた情報共有や問題解決を目指す会、障害を持つ子どもや父親の悩みを解決するための相談窓口を設けていることが多い。それぞれの父親自身が感じている悩みなどを共有し、母親とは異なる父親ならではの視点で行動することで、より良い社会の実現を目指している。	親としての活動であるが、ビジョンが明確で今後の活動に期待できる。 研究とその成果を軸に、堅実な活動をされている点がとても良い取組だと感じました。地元ならではの研究成果を元にした企業関係者や子どもたちへの教育など、市民への教育効果も期待できます。 自然からのリスクに向けた全住民を対象にした防災視察の取組が素晴らしい。 新住民の共生など新形で意欲的な取組がみられ、福津市をよりよきようという積極的な姿勢がみられます。 住みよまづくりを基本コンセプトに、現在の住人、移住者、訪問者から幅広い意見を聴取し、ホームページなど広く情報発信している点は、高く評価できます。	持続可能な活動を行うために組織運営にする点。 ウェブサイトを若者の視点を取り入れ、誰もが見やすくなりやすいコンテンツになるよう整理するとより多くの方が参加しやすくなると思います。 トップダウン、ボトムアップだけでなく「空気がよく」、ムードメント化で多くの市民を巻き込んでほしい。 政策提言が顕著されているイメージを抱かれないように、両面活動や広報活動に留まらず、本来的な持続可能なまちづくりに向けた主体的な取組を期待します。 ホームページなどに発信している有益な情報が多い多くの人に届くよう、他団体や個人、企業などと連携し、情報発信が強化されると、より研究会で実施されていることが広まるのではないのでしょうか。（その中で、いい点の魅力を強みとして発信してほしいと思います。）
5	くらしのサポートセンターサックス	個人	平成28年	週5回程度	くらしのサポートセンターサックスは、地域の住民が自分たちの力で生活し、利用する一人一人が自分の生活の質を向上させること、参加を希望する人々を積極的にサポートし、交流もできる場にもなっています。	福津市での活動であるが、SDGsの理念に資する取組である。 社会課題の一つになっている空き家の再利用を推進しており、貴重な活動だと感じました。今後さらに拡大が見込める活動と期待しています。 多世代交流が起るようになっている点が素晴らしい。 幅広い年齢層にわたって、市民の居場所づくりに情注する意欲的な姿勢がうかがえます。	福津市はもちろみ、本取組を対外的（福津市外）にも積極的に広報するとさらに良い。 子育て中の父親以外の関係者を巻き込む仕組みがあると良いと思います。また、2030年の夢をもう少し具体的に描くことで、今宵をすべきの一歩がでてくるかもしれません。 家族という立場だけでなく、地域や街という視点で「共創」を営みし様々な人と一緒に活動できるようにすると良い。 普及啓発に努めていただくとともに、さらなる多方面との連携を期待します。
6	富司老人会	個人	平成30年	月2回程度	老人会は、会員が集まりお喋りする機会を作るが、これだけでは会員外は1人。地域に不可欠な老人会が、子どもや若者のために活動している。老人会が、子どもや若者のために活動している。老人会が、子どもや若者のために活動している。老人会が、子どもや若者のために活動している。	老人会の意識改革によってアクティブシニアを増やそうという目標に期待がもたれても持っていました。 持続可能な地域づくりに向けに独創性を発揮してほしい。 高齢者の活躍を視野に入れた意欲的な取組で、福祉史を研究して地域理解に努める姿は若い人たちの刺激になります。 幅広い活動を年を通して活発に行っている点が非常に評価できます。	地域に欠かせない団体として、今後の管理・運営体制がより多様な地域住民の参加により支えられる仕組みが望まれます。 経済、社会、環境の相互関連性や相乗効果をもっと意識するとさらに良い。
7	一般社団法人ルーラス	個人	平成29年	週8回程度	福津市内の子ども・成人、二世代の方までを対象にスポーツ教室を実施している。運動の得意な手や経験豊富な指導者の指導を受けながら、子どもは楽しく、大人は健康で加齢による衰えを遅くしている。スポーツは単一種目ではなく総合的に取り組む、参加する方々にスポーツの楽しさを提供している。	老人会としてのビジョンが明確であり、具体的な取組が実施されている。 スポーツを通した教育に力を入れており、様々な年齢層の子どもや若者の社会の実現に向けた展開に期待しています。 市の教育施設と連携し、地域住民に場を開いている。 地域に根ざしたものであり、スポーツを通した意欲的な取組です。 若年や経験、障がいのある方から対象者を幅広く設定している点は高く評価できます。 ビジョンが明確であり、健康を促進する取組も熱心。	持続的で多様な立場から活動を支える工夫があれば、企業などにもステークホルダーを広げられるなど、ボランティアの活動をさらに発展させられるのではないかと思います。 交流は生まれるという点で、対話的に新たな人材の輩出やプロジェクトの創出が起きるとさらに良いのでは。
8	上内電気株式会社	個人	平成23年	随時	企業として取り組んでいる照明器具を有効活用し光源をLED化するよりLED照明に力を入れており、「省資源・省電力・省スペース・省コスト」をコンセプトに活動しています。	包括・対立から環境・経済・社会の調和を長年めざし、リサイクルによって持続可能なまちづくりに貢献しています。	貴社の取組は必ずしも他社へ適用することはできませんが、このコンセプトを伝えていただきたいのです。

【教育部門】

No.	個人/団体名	応募種別	活動開始年	活動頻度	活動概要	高く評価できる点	現在の取組にプラスして欲しい点
1	福津市立上西郷小学校	個人	平成20年	年5回程度	「上西郷小学校の愛を世界の子どもたちへ」本校で10年以上継続している児童学習給食の学習の時間的取組。校庭のテラスから採れる給食をまわって販売したり、ふるまひを販売したりして、ユニセフに毎年3~4万円の募金を行っている。	10年以上継続されている活動であり、素晴らしい取組だと思います。 長く続けていることや、お返しに交換できていること。 地域の特性を生かして取組だけでなく世界的視野での活動がみられます。 総合学習の取組として、自分達でできる取組から世界のことまで抱える問題に貢献するという意識を持つことで高く評価できます。 平成20年からの取組であり、継続性が評価できます。	身近な素材を変換することで何か新しいアイデアが共有される良いかもしれません。 市内外での多様なネットワークを構築し、交流や共同プロジェクトができるようになる点が良い。 第6学年、また、総合学習でだけでなく、SDGsは追求できるはずです。 SDGsの観点からだけでなく、児童の日々の生活と世界で起きている事象の関連性について考える取組を行うことで、より身近にSDGsを感じられると思います。 学校のみでの活動から地域を巻き込んだ活動につながるとさらに良い。
2	長濱 幸	個人	平成24年	不定期	長崎県立大・下関市立大におけるフェアトレードを中心とするSDGs活動。 ・学生とのフェアトレード推進活動(学内外) ・出席講義などを進めた高校での活動 ・地域の関係者との連携	他大学とコラボし、視野が広く持っている。 — フェアトレードに関して、高校での出席講義を設けると、積極的な取組が評価できる。	地域との関わりについての実践があるとさらに良く感じました。 具体的な地域住民との共同プロジェクトなどの連携が起ることにより良いでは。 フェアトレードに限定せず、発展を持てるには相当のブラッシュアップが必要でしょう。福津市との連携実績を積んで応募すべきです。 フェアトレードについては多くの企業・団体が取組んでいるので、連携先を増やして、地域の取組・教育プログラムに連携する点も期待しています。
3	福津市立福南中学校	個人	令和1年	年1回程度	本校では、令和元年9月28日に『福南中発！福津市未来会議』を開催した。それは、SDGsに関連したものをチャレンジテーマとして、3年生の生徒と地域の大人が10年後の福津市の未来像を描く取組である。会議終了後、会議の内容を提言書として福津市に提出した。	SDGsの真骨頂ともいえる取組があるところから、ホールスクールアプローチが実現されています。 福津市未来会議の取組は、地域住民と一緒に今後の未来を担う中学生が未来の地域像について話し合う非常に良い取組として高く評価できます。 福津市立の中学校として、学校と中学生が一体となり福津の未来をSDGsの視点でよく考え提案している。	この学びが将来に向けてどう反映されるかある程度のストーリーを構築していただければと思います。 福津市未来会議やその後の提言書のりまの時に、専門性を持ったファシリテーターを入れることで、より実効性の高い提言書に繋がるとは思いますが、一つは福津市に提出した提言書も活用することを期待します。
4	福津市立福南小学校6年生	個人	令和1年	週2回程度	取り残されない社会とはどういうことか、町探検を通して理解を深める。講師は福津市に住む大人や働いている人。それまでのイメージは取り残されていく人があつたのではなくてを教える、自分たちでできることを福津市から探していく活動。	各教科ごとにSDGsを繋げている視点が良い。 SDGsに向かう教育で重要なキーワードがしっかりと含まれています。 SDGsの基本理念について、身の回りのコトから理解を深める非常に良い取組。 子供たちによる町探検から福津の課題を見出し、高齢者福祉施設訪問など実践につなげている。	地域の中にある課題の発見や仮説づくりなどに持っていかれることにより良い。 教育課程の仕掛け、カリキュラムマネジメントを行う上で、学習内容のさらなる検討が求められます。 市内の他の小学校の取組と協働することで、校区内から市内へ子ども達の意識が拡大・展開していかれることにより良いのではないのでしょうか。
5	福津市立福南小学校	個人	令和1年	月8回程度	津屋崎の「自然」をテーマに、第5学年の各学年級がそれぞれ別のテーマで学びを展開しています。地域の環境問題を発見し、それを解決するための方法を各学年で追究し、最後はお互いに意見を交換することで、『持続可能な社会』を実現する人材を育てます。	生活と自然と身近なこととSDGsを繋げられており、実践型になっている。 地域を舞台とした環境教育を中心とした取組にも広く実践している価値のある取組です。 子ども達の主体性に全意を懸けて取り組んで評価できます。 津屋崎の地域特性（海に面している）に着目し、課題認識、調査等を行っている。	国際的な視点を追求するために、海外との交流や、繋がることによる学習内容のさらなる加わりにより良い。 持続可能性を追求する子どもたちの姿を多方面から観察できるとさらに良い取組を期待します。 地域住民や専門家等との交流を通して、子ども達については気づきにくい視点などを入れ込めるとより良い取組になると思っています。
6	ふくたつ山森づくりプロジェクト	個人	平成26年	月1回程度	地域住民、高校、大学、行政の協働により里山環境の新しい価値を考えた生物多様性のモニタリング・保全に取り組みしています。未利用の自然資源の循環を目指し、竹林・薪炭林の伐採と伐採した木竹の活用を行っている。	様々なステークホルダーの協業によるプロジェクトで長年の継続は素晴らしい取組だと感じました。また、竹林蓄積は日本の多くの過疎地域が抱える課題です。これに対する取組は、素晴らしい全体的な展開も期待できます。 研究から活動へと繋がって、市民も参加していること。 日本の地域特性と自然環境の固有性を考慮した学術的にも価値がある取組と評価できます。	実践につながる革新的なアイデアが盛り込まれるとさらに良く感じました。 教育部門より一部署部門のメンバーが適切であったような気がします。 都市における自然資源の循環について、他地域の取組と比較することで、より良い取組につながるかもしれません。
7	福津市立福南小学校4年生	個人	令和1年	月4回程度	福南海岸や西郷川川自然環境を調査することを通して、環境の大切なる環境を自らに向けて、そこに住む生き物や環境を大切にしようとする態度を養う。	環境保全をテーマに子どもたちが学外に出て主体的に学びが非常に貴重なものだと思います。 学校外に出て、直接体験の機会をつくられている点。 —	ゴミ問題をテーマにさらに多角的な視点から問題を徹底的に考える仕立てがあると良いと思います。 ローカルなことが、世界規模へのグローバルに繋がっている視点を盛り込めるとより良い。 子どもを主体的に取り組む姿勢が素晴らしいと感じます。
8	福津市立福南小学校4年生	個人	令和1年	月4回程度	身近な自然環境を題材にした環境教育の取組は、環境問題を自分ごととして捉える良い機会だと思います。対象範囲を広げて、身近で起きている事象と国際的な課題の繋がりに関する視点を振り下げることで、より良い取組が実現すると思います。	環境保全をテーマに子どもたちが学外に出て主体的に学びが非常に貴重なものだと思います。 学校外に出て、直接体験の機会をつくられている点。 —	身近な自然環境を題材にした環境教育の取組は、環境問題を自分ごととして捉える良い機会だと思います。対象範囲を広げて、身近で起きている事象と国際的な課題の繋がりに関する視点を振り下げることで、より良い取組が実現すると思います。 福津市の自然をテーマに海や川に目を向けている。